



『建築家になりたかった夏目漱石』

今年は夏目漱石生誕一五〇年の年です。皆さんは夏目漱石が建築家になりたがっていたのをご存知でしょうか？

『建築ならば衣食住の一つであつて世の中になくてはならぬのみか、同時に立派な美術である。趣味があると共に必要なものである。で、私はいよいよそれにしよう』と決めた。『そう夏目金之助が心に決めたのは二十三歳の時でした。当時の『実用』的な日本の建築物を『美』によつて人々に感動を与えることが出来るようなものになりたい、と考えていたのでしよう。しかし友人の米山安三郎から文学で幾百年幾千年の後に伝えるべき大作を君はやるべきだ、と言われ文学をやることに決めたそうです』

漱石が建築を志した頃、わが国の建築界を背負つて立つ男がその頭角を現し始めていました。辰野金吾(明治建築界の三大巨匠)です。その辰野金吾の息子隆(ゆたか)は、何度も何度も漱石の講演を聴きに行き、漱石から強い影響を受けたフランス文学者です。

(漱石のデザイン論 川床優著より一部抜粋)

その門下から、小林秀雄や三好達治、太宰治、そして私の読書の師である森有正が育つていきました。今年の秋には、夏目漱石が晩年住んでいた新宿の跡地に本格的な記念館が完成するそうです。

激動の明治時代を生きた、代表的な日本の知識人夏目漱石を、今一度学んでみたいと思います。

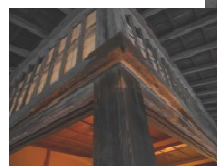
代表取締役 伊藤 弘幸

たてもの見聞録

～ 研修旅行 山口編 (Part 1) ～



→藩御用達の菊屋家台所で使われていた1枚の石。
↓廊下の建具が90°回転します。



→明治40年、東京都品川区に建てた別邸の一部が移築されました。



菊屋家住宅(萩市) 【国指定 重要文化財】

伊藤博文別邸(萩市)



宇部市渡辺翁記念会館(宇部市) 【国指定 重要文化財】

宇部市発展のため、国のため、社会の発展に貢献した渡辺祐策翁氏の遺徳を顕彰するため、翁の関係した事業各社の寄付により建てられました。(1935年着工1937年竣工) 設計は村野藤吾氏。音響効果に優れたホールとされ、世界から一流の音楽家が訪れ演奏をしています。



☀長門大内氏が安芸支配の拠点とした、安芸西条の鏡山城から昇る初日☀
年末年始と暖かくお天気に恵まれました。弊社の下野家の畑から、毎年見られるそうです。今年はとても美しい初日の出だったそうです。(上部写真も)

今年 は 酉 年 美 しい 鳥 を 愛 で る



<伊藤 若冲>

←◆動植綵絵

(どうしょくさいえ) より
群鶏図

動植綵絵は1758年頃から
10年かけて完成させた30
枚の連作。そのうち、最
も有名な作品のひとつ。
宮内庁収蔵。

→◆孔雀鳳凰図

昨年83年ぶりに発見され
話題に。大正15年(1926
年)当時は**広島藩主浅野**
家12代当主**浅野長勲**(な
がこと)伯爵の所蔵あっ
たとされる。神奈川県箱
根の岡田美術館収蔵。



【伊藤若冲(いとうじゃくちゅう)】 (1716年～1800年)

京都の中心地にあった青物問屋に生まれた若冲は10代半ば頃から修行をはじめ、40歳になると家業を弟に譲り本格的に絵師の道に進む。日本画壇になかった斬新な技法で、写実と想像を融合させた華麗な作品を残した。裕福な家業の影響か、最高品質の画絹や絵具を使用したため、保存状態が良く、300年経った今も痛みが少ない状態で見られる。



【狩 野 派】

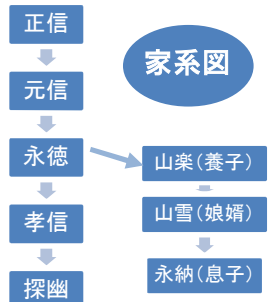
室町時代から約400年活躍した絵師集団の一派。**狩野正信**が足利幕府の御用絵師に任ぜられたことから始まり、その子**元信**は日本古来の大和絵の装飾性を生かしたか狩野派の画風を確立する。その孫**永徳**(1543年～1590年)は織田信長など時の権力者の趣向にあったきらびやかな桃山様式を完成させた。永徳の没後、その豪壮な作風を引き継いだのが、永徳の養子であり、後に京狩野派の祖となる**山楽**である。永徳の孫**探幽**は江戸に拠点を移し、江戸狩野派と呼ばれる。

<狩野 永納>

(1631年～1697年)

◆孔雀 襖絵

聖護院(京都市左京区)
の宸殿、孔雀の間の襖絵。
古来、孔雀は害虫や毒虫
等を食することから、私
たちの身の回りの災いを
食べ尽くすともいわれる。
宸殿の部屋は15を超え
狩野永納、益信筆による
障壁画が130面にも及ぶ。



～番外編～ 【長谷川派】

エリート集団であった狩野派に対して、**狩野永徳**と同時期に活躍するのが**長谷川等伯**。武士の子として生まれるが染物屋に養子に出され、そこで手ほどきを受ける。狩野派でも学び、千利休などの文化人との交流により実績を上げていく。

→<長谷川 等伯> (1539年～1610年)

■楓図 知積院(京都)



～ ウ ィ ズ ア ー ト の 施 工 現 場 か ら ～

住宅新築



【完成・音戸の家新築工事 ～呉市音戸町～】目の前に瀬戸内海が望めるオーシャンビューの家。テラスから魚釣りも楽しめます。ご家族でゆっくりと休日を過ごしてください。（竹本）

住宅新築



←【A様邸新築工事 安佐北区可部町】
A様の御家族は建築に関わる仕事をされており、今回はお義父様が左官工事、施主様ご本人が防水工事をされます。皆で力を合わせて立派な家を作りたいと思います。（丸口）
→【S様邸新築工事 廿日市市】
若い世代、ご家族4人の新居です。広々としたルーフテラスで、まだ幼い子供さんたちの遊ぶ様子が目に浮かぶようです。

住宅新築



古民家



【完成・O様邸解体及び外構工事 ～安芸郡海田町～】
旧家の特徴である庭木を伐採して、来客者や家族の往来を便利にするため駐車場を整備しました。（下野）

住宅リフォーム



【I様邸増築工事 安芸郡熊野町】
築20年、音楽が好きなご家族の為、防音他内部、外部と増築改修します。



今年度も皆様のお住まいに関われることを喜びに一同、精一杯頑張ります！！

ビル・テナント



【完了・Hプラザ特別清掃】
毎年、年に一度の吹抜け清掃をロープを使って清掃します。「ロープアクセス」の資格を持った技士が担当します。

公共施設



【完了・広島県立A高等学校】
玄関廻りの照明をLEDに、庇・内部を明装し、新たに校名と校章を取り付けました。（伊藤）

公共施設



【県営住宅劣状況点検業務】

昨年引き続き浴室等を点検しチェックの状況を確認します。



旧県庁舎

山口県旧県庁舎・山口県旧県会議室堂（山口市）
【国指定 重要文化財】

大正2年（1913）から5年にかけて建造された、後期ルネッサンス様式を基調としながらも随所に新しいデザインがみられる大正時代の代表的な建築物です。日本の様式や欧米の最新デザインを大胆に取り入れた細部の独創的な意匠は見る者を魅了させます。”歴史遺産”として、また工芸品のような美しさを鑑賞できる”美術品”として、そして、日本のモダニズムに想いをはせる”モニュメント”として必見する価値のある建物です。

設計者は明治建築界の三大巨匠の一人、妻木頼黄氏です。



旧県会議室堂



県会議室ではギターのコンサートのハーサルをしていました。今も使われているんですね。外観は重厚な趣があり、室内の天井、照明、窓、扉、梁の飾りなどもどれもモダンな豪麗なデザインでした。建物全体、上から見ると山口市の「山」の形になっているそうです。案内していただいた方がとても丁寧に説明してください、この建物に対する深い愛情を感じました。

★妻木頼黄（つまきよりなか）1859～1916

広島臨時仮議事堂（国会議事堂※）など多くの官庁設計を手掛ける。他横浜赤レンガ倉庫など
※日露戦争開始に伴い、臨時首都となった広島で帝国会議が開催されました。

★辰野金吾（たつのきんご）1854～1919

東京駅・日本銀行など設計。

★片山東熊（かたやまとうくま）1854～1917

迎賓館（赤坂離宮）・仁風閣（鳥取県）など設計。

明治建築界の三大巨匠



山口サビエル記念聖堂（山口市）



→ 別府弁天池

（美祢市）
とにかく、水のその透き通った美しいコバルトブルーに感動しました！！長寿の水とも言われており、紅葉の季節は廻りの風景と共に一段と美しいそうです。



秋吉台国際芸術村（美祢市）

広い芸術分野の創作活動の場として、また人材育成、アーティストの支援を目的として、1998年に建てられました。ホールは秋芳洞の洞窟内をイメージして作られているそうです。設計は磯崎新氏。



← 山村別館

（長門市）
偶然、広島で山村別館の方と出会い、今回お世話になることになりました。美味しい食事と温泉、暖かいおもてなしで大満足でした！
オススメのお宿です！

まだまだ知らない土地、知らない建物、知らない歴史がある、
多くのことを学んだ楽しい研修旅行でした。
これからも「知る」を楽しみたいと思います。 (S.I)



株式会社 ウイズアート

住所 広島市中区竹屋町1番17号IMビル8F
TEL/FAX 082-247-0062 / 247-0063
Eメール itoh@uizu-art.jp
ホームページ ウイズアート広島 で検索